

令和3年7月20日 一学期終業式

校長の話 「通知表 と オリンピック」

校長 上村哲也

おはようございます。暑い毎日が続きます。1年生の廊下を通ると、絵の具で描いたおいしそうなかき氷の絵がはられていて、とても涼しい気持ちになります。

今朝のみなさんは、随分と元気なあいさつをしていました。一小の目標であるあいさつが上手になってとても嬉しいです。夏休み中も、いろいろな方とあいさつを交わしてください。

今日で1学期が終わります。コロナ禍で校外学習が延期になったりボランティアの方の読みきかせがなかったり、いくつかの行事が中止になるなど、まだまだ不自由な学校生活が続きましたが、無事に1学期の終業式を迎えることができました。それが当たり前ではない今、まず、無事に過ごせたことについて、児童のみなさんや保護者のみなさん、先生方の協力や努力に感謝申し上げます。

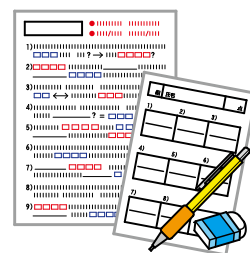
さて、終業式にあたり二つの話をします。1つ目は通知表について、2つ目はオリンピックについての話です。

1つ目の話です。今日担任の先生から手渡される通知表には、みなさんそれぞれの努力の足跡が記されています。私たち教師は、みなさんのいろいろな場面での活躍を思い浮かべ、たくさんあるみなさんの良さの中から、ご家族のみなさんに一番お伝えしたいことを選び抜き、これからの学校生活に役立ててほしいと願って通知表をつくりました。通知表は私たちからの応援メッセージです。ぜひ、大切に読んでください。

また、自分が思っていたことと少し違うと思うところがあるかもしれませんが、そこは注意深く「なぜなのか」考えてみてください。先生方の見方と皆さん自身の思いは違っている部分があると思いますが、そこに

気づくことも価値あることと考えています。先生方の見方を参考にして、もっともっと自分自身を知って、自信をふかめたり直すべきところを見つけてみたりしてください。

それから、「家の人に伝えたい自分でがんばっていたこと」をご家族のみなさんへ伝えてください。学校だよりの中にそれを書く欄がありますね。通知表とあわせて1学期の取組をご家族の皆さんと一緒にふり返り、楽しい夏休みを迎えてほしいと思います。



2 つ目の話です

7 月 23 日（金）から東京 2020 オリンピックが開かれます。これまでのオリンピックの歴史の中で一番多い、33 競技・339 種目が 42 の競技会場で行われる予定だそうです。続いて、8 月 24 日（火）からはパラリンピックが開かれます。

オリンピックは「スポーツを通して文化や国籍などの違いを越え、平和でより良い世界を目指す」ために開かれる、4 年に一度のスポーツの祭典です。日本で開かれることが決まったときは、日本中の多くの人たちが喜び合い、世界中の人たちと交流できることを楽しみにしていました。

ところが、新型コロナウイルス感染症によって 1 年延期され、聖火リレーも思い通りにできず、大会を間近に控えた今も、大会を行うことについていろいろな意見がとびかっています。大会の成功に一生懸命がんばっている人もいれば、いまでも開催に反対している人もいます。本来、オリンピックはみんなが心をつなげてみんなで楽しむはずのイベントですが、コロナによって人々の考え方はいろいろに分かれてしまいました。そのような時、人は自分の意見が当たり前と思いがちですが、人にはそれぞれ立場の違いがあり、暮らしぶりも違います。お互いの意見に耳を傾けることが必要なのだと思います。

そのような中で東京オリンピックが始まります。この大会でも、間違いなく言えることは、出場する選手の皆さんはそれぞれの国の代表として、長い間一生懸命努力を積み重ね、多くの人の期待を背負い、出場を名誉に感じて臨んでいるということです。直接会場で応援することはとても難しくなってしまいましたが、心から応援したいと思います。きっと素晴らしい姿をたくさん見ることができ、いくつもの感動を覚えることができると思います。私たちが学ぶべきことがたくさんあるはずです。



みなさんも東京 2020 オリンピック・パラリンピックからたくさんのことを学び、2021 年の特別な夏休みを楽しく過ごしてください。楽しみ方は自分から見つけていきましょう

これで話は終わりです。8 月 30 日（月）に元気な姿でまた会いましょう。

